



LDKは梁や柱を活かしながらか明く開放的な空間に。オープンな対面式キッチンでは家事をしつつ、家族や友人と会話も楽しめます。ソファ奥の格子は構造上、抜けない柱を利用して。テレビの背面の壁に貼られたLIXIL「エコカラット」がモダンな雰囲気を出して。

## 築100年超の日本家屋を モダンで丈夫な「現代の住み継ぐ」 住まいに再生

迫力のある木組みを活かした温かな空間

白い壁に濃茶の格子、そして瓦屋根。凛とした佇まいの手島邸は、築100年を越える日本家屋をリフォームしたものです。手島様は、以前の住まいが手狭になり、新築を考えつつご主人の友人である工務店の社長に相談したところ、この家を購入して改築することを勧められたそう。もともとご主人はレトロなものが好きで、古民家にも興味があったので、ここを新たな家づくりの場を選びました。

大勢の友人が来ても自由にくつろいでもらえるわが家になりました!



佐賀県唐津市【手島邸】

玄関を入ると、ダイナミックな木組みと吹き抜け。そして、鉄骨の階段がアクセントを添える、ご主人のイメージを形にした空間に圧倒されます。そして先へ進むと、白を基調に、木の温もりを活かしたLDKが。「家の相談中にもう一人を授かり、4人になる子どもたちがのびのびと遊べるように、広い空間がほしかったんです」と奥様。そこで、構造上外せる柱は抜いてワンルーム空間に。もちろん、構造計算をして壁面を強化するなど、耐震補強も。また、ひと続きにある和室にはデッキを設置し、庭も確保しました。

デザインは、ご夫婦の希望で昔ながらの梁や柱は空間のなかに活かしつつも、ともに30代のご夫婦になじむ、モダンで明るい雰囲気仕上げました。「私の希望だった対面式のキッチンも使いやすいし、収納も十分。段差もないので家事もしやすいです」と奥様。ご主人も理想の家で「満足そうにリビングでしみじみお酒を飲んでいきます」。歴史ある住まいに新たな息が吹き込まれ、この先も住み継げる家に生まれ変わりました。

- ①キッチンには壁面収納や食品庫も設けました。DKの近くにはご夫婦がパソコンをしたり、お子さんが宿題をするワークスペースが。
- ②ご夫婦で選んだアンティーク家具もなじむリビング。床は木目調のフローリングシート、壁・天井はクロス仕上げ。和室の左には玄関からも出入りできるガレージも。いずれご主人の愛車が収まる予定。
- ③玄関はご主人の希望で設置した鉄骨の階段がアクセントを添える迫力ある空間。LDを回遊できるように、引き戸を2つ付けました。



### Before

空き家状態で、室内は古くて細かく仕切れ、住むには手直しが必須でした。

### Data

- 家族構成:6人(夫婦+子ども4人)
- 築年数:100年以上
- 工期:6カ月

### After



### Before



リフォームしたところ



- ④登記簿に建築年月が載っていないほど古い家を見事に再生。改築前はかなり大きかったため、減築をしてほどよい広さを確保。
- ⑤東南側の玄関は車の多い道路に面しているため、アプローチは格子を組み込んだ塀で目隠し。家も気密・断熱性を向上させ、静かで快適に。
- ⑥洗面室は物干しスペースもあり、天気に関係なくたくさんの洗濯物が干せて便利。正面の窓の先が塀のあるアプローチなので十分な通風を得るため、LIXILのすべり出し窓を横並びに2つ設置しました。



- ⑦2階北側にある子供室。天井の梁はもろろん、ダクトも黒く塗装して、デザインの一部に。将来は2つに仕切られるように扉も個別で付けています。
- ⑧この家のダイナミックさがいちばん感じられる2階の天井。壁の一部には、以前の戸にあった飾りを活かしました。昔ながらの木組みの梁は金具などの補強がいらなかったほど、実にしっかりとしています。

